



**学生の設計案で
グループホーム完成**

安心計画

DTS(東京都、北村友朗社長)グループの安心計画(福岡市、高田政和社長)は2020年から、九州産業大学建築都市工学部住居・インテリア学科の香川治美研究室と産学連携の取り組みを行って

る。同研究室ではDTSが開発した住空間ブレゼンテーションCA「ウオーキングホーム」を活用し、学生が建築設計を行っている。22年に香川研究室で開催した建築設計コンペティション「GH11グランプリ」。障害者グループホームをテーマに、多数の建築設計案の応募があったな

か、最優秀作品はスエナガ(同、出口洋一社長)の協力を得て、実際に「YOKATOKO南片江 式番館」として福岡市内に施工された。今回のGH11グランプリを中心としたプロジェクトは、安心計画が経済産業省中小企業庁より採択された20年度「商業・サービス競争力強化連携支

援事業」の一環。グループホーム設計では、3Dでイメージが伝わりやすいウォーキングホームの良さが発揮された。特に車椅子での玄関から居室までの動線確認や居室の壁紙のシミュレーションなど、3D設計システムならではの利点が生かされた。